

八戸市立市民病院 薬剤師臨床研修プログラム実施要領

1. 研修理念・基本方針

■ 研修理念

地域中核病院としての機能を担う当院において、患者の安全と最適な薬物治療に貢献できる科学的視点を持った臨床薬剤師の育成を目指す。

■ 基本方針

- ・すべての薬剤師が身につけるべき基本的な臨床能力を体系的に修得する。
- ・急性期医療と地域医療の両面に対応できる薬剤師としての判断力と実践力を修得する。
- ・チーム医療を推進し、高度な薬剤師業務に参画できる力を修得する。
- ・科学的根拠に基づく薬物療法を実践するための研究能力を修得する。

2. 研修管理体制

■ 管理者

院長が研修施設全体で薬剤師の臨床研修を行なう体制を支援し、研修プログラム責任者や研修プログラム実施責任者、指導薬剤師等の研修担当者の業務が円滑に行われるように配慮する。

■ 研修プログラム責任者

薬局長がプログラム全体を統括し、修了判定を行う。

■ 研修プログラム実施責任者

副薬局長および薬剤師長が研修計画の運営を担当し、研修者の研修進行状況を把握し、必要な支援・調整を行う。

■ 指導責任者

各研修項目の指導責任者が研修実施の責任を負い、指導担当者を配置する。

■ メンター

研修者1名に対し、担当メンター（先輩薬剤師）を1～2名配置し、日常的な相談・支援を行う。

これらの担当者は、研修プログラム開始時に決定し提示する。

3. 研修内容

以下のア～クの 8 領域を必須研修項目として設定する。

ア. 調剤業務

[目的]

安全で正確な調剤技能を習得し、適切な疑義照会と薬学的提案ができる薬剤師となる。

[到達目標]

処方鑑査のポイントを理解し、疑義照会の要否を判断できる。

内服・外用・注射薬の調剤を適切に実施できる。

一包化、粉碎、代替薬提案など、患者の状況に応じた調剤ができる。

医療安全の視点から調剤過程を自己点検できる。

イ. 医薬品の供給と管理

[目的]

病院薬剤部門全体の薬剤供給管理を理解し、安全・安定的な医薬品供給体制を支えられるようになる。

[到達目標]

医薬品在庫管理、発注、期限管理を理解し実施できる。

麻薬・向精神薬・毒薬等の管理手順を遵守できる。

病棟・外来・手術室・救急等への供給体制を理解する。

災害時・緊急時の医薬品供給手順を説明できる。

ウ. 医薬品情報管理

[目的]

医薬品情報を適切に収集・評価し、臨床現場に提供できる能力を身につける。

[到達目標]

医薬品情報の信頼性評価ができる。

安全性情報（副作用・相互作用・禁忌）を整理し医療スタッフへ提供できる。

院内問い合わせへの対応記録を作成できる。

副作用報告ができる。

エ. 病棟業務

[目的]

入院患者に対して薬学的管理を実施し、チーム医療の一員として療養支援を行う。

[到達目標]

入院時の持参薬確認、初期評価、アレルギー・副作用歴の確認ができる。

服薬指導、退院時指導が自立して行える。

主要疾患（感染症、循環器、呼吸器、がん等）の薬物療法の基本を理解する。

多職種カンファレンス・回診へ参加し、薬学的提案ができる。

オ. 無菌調製

[目的]

無菌操作の基礎と抗がん薬含む注射薬調製の安全管理を実践的に学ぶ。

[到達目標]

基本的な無菌操作手技を習得する。

クリーンベンチ・安全キャビネット（アイソレーター）の使用方法を理解する。

抗がん剤や高カロリー輸液などの無菌製剤の調製ができる。

個人防護具（PPE）の適切な使用・廃棄ができる。

カ. がん化学療法

[目的]

がん薬物療法における安全管理・レジメン管理・副作用対策を習得する。

[到達目標]

レジメンの構成要素（投与量、スケジュール、支持療法）を理解する。

レジメン鑑査（禁忌、投与量、腎機能調整等）ができる。

有害事象の予測・評価・対策ができる。

キ. 医療安全

[目的]

医療安全の観点から薬剤師が果たす役割を理解し、リスク感度を高める。

[到達目標]

インシデント・アクシデントの報告手順を理解し実施できる。

調剤・鑑査・服薬指導におけるリスクポイントを説明できる。

多職種の医療安全研修を受講し、改善策を提案できる。

ク. 感染制御

[目的]

感染対策および抗菌薬適正使用に参画できる力を身につける。

[到達目標]

感染経路別予防策・標準予防策を実践できる。

抗菌薬選択の基本を理解する。

細菌培養結果の読み方を理解し抗菌薬の TDM ができる。

感染症カンファレンスに同行し、薬学的提案を行う。

4. 年次目標および研修概要

別紙に定める

5. 評価

■ 評価項目

- ・ 研修態度
- ・ 到達度評価表による評価（自己評価・指導者評価）
- ・ 1年目修了発表会でのプレゼンテーション
- ・ 各年次の目標達成状況

2022年12月策定

2026年3月改訂